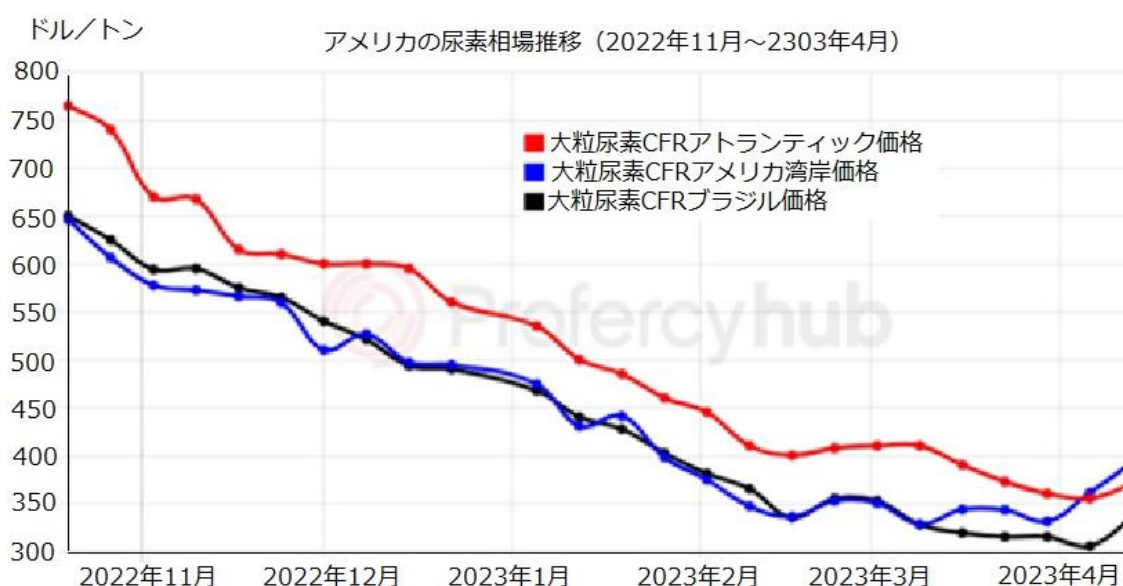
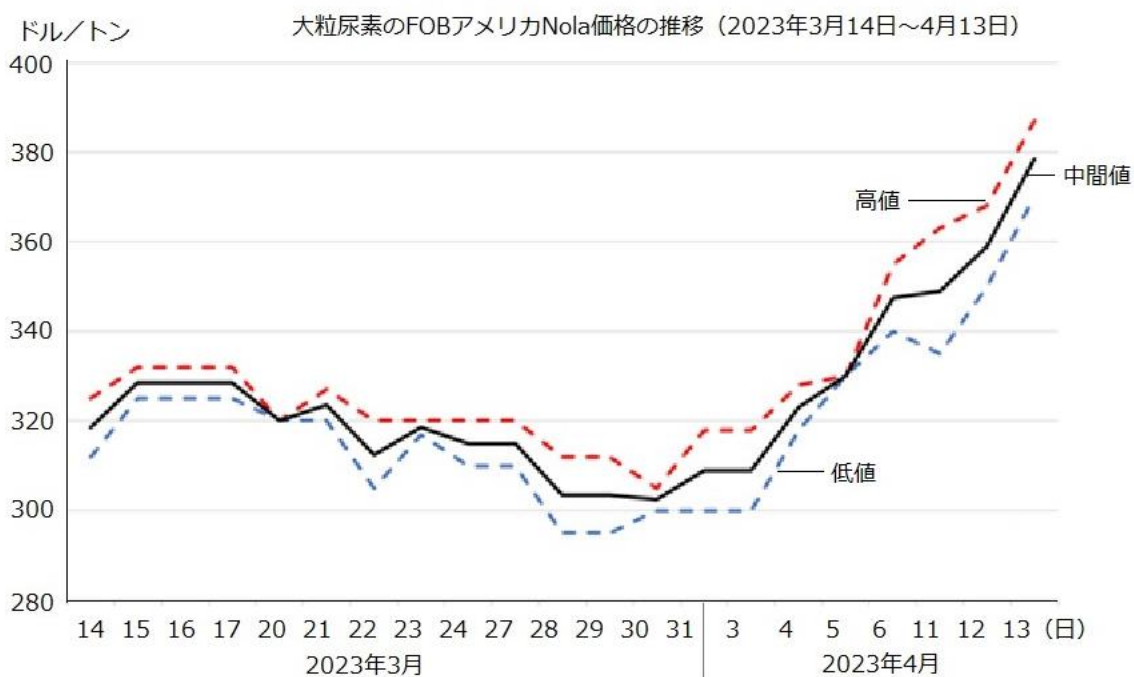


## 国際化学肥料ニュース（2023年4月）

### 肥料業界の2023年4月動態

- \* 4月5日、インド IPL 社はカナダの Canpotex 社およびロシアの Uralkali 社との間に2023年の塩化加里輸入基本契約を締結した。CFR 価格 422 ドル/トン、2022年の CFR590 ドル/トンより 168 ドルも下がった。また、Canpotex 社との基本契約は2023年9月30日までの6ヶ月に限定されるもので、Uralkali 社との基本契約は有効期限が公表されていない。
  
- \* 4月第1週（3～9日）のアンモニア国際相場が急落した。ノルウェーの Yara 社がアメリカの Mosaic 社との4月 Tampa 港揚げのアンモニア月間 CFR 価格が 435 ドル/トンで、3月の月間価格より 155 ドル/トン下がり、2021年2月以降の最低価格となっている。また、日本の三菱商事は FOB310～335 ドル/トンの価格で中国3社にインドネシア産アンモニア 5.5 万トンを販売し、4月に中国の湛江港、大豊港と連雲港に輸出する。4月には中国、トルコ、インドとモロッコはアンモニアに対する一定の需要があり、東半球では 350 ドル/トン、西半球では 400 ドル/トン台に安定するだろう。
  
- \* 4月第1週（3～9日）の尿素国際相場の下落が2か月ぶりに一段落した。中国産尿素を除き、主要産地の FOB 価格が 240～280 ドル/トン台に安定している。これは天然ガスの価格が安定して、生産コストが限界に近づいて、それ以上の価格低下が見込めないため、今まで買い控えしているバイヤーが再び市場に参入してきた。
  
- \* 4月に入って、中国政府は化学肥料の輸出「法定検査」制度を緩くした。DAP は輸出割当数量範囲内であれば、「法定検査」が 10 日で完結して、尿素も「法定検査」の期間が 30 日以内に短縮された。その理由は DAP が国内にダブつき、輸出価格と国内価格がほぼ同様になり、尿素も国際価格の低下により、中国の尿素国内価格が輸出価格より高いという逆転現象が起きたため、「法定検査」の時間を短縮して、輸出を加速させ、国内経済を刺激する目論見である。
  
- \* 4月に入ってからアメリカ国内の需要で、尿素価格を押し上げた。4月13日現在、FOB Nola が3月末より 32 ドルも値上がり、最高で 387 ドル/トンを要求してきた。アメリカ国内の農業活動は正常に行っているが、2022年第3四半期以降、肥料価格が一貫して下落しているため、多くの小売業者や卸売業者が市場から離れていた。トウモロコシ栽培地域の好天気と南部のターミナルでの新たな需要が、4月上旬の価格上昇を引き起こした。ただし、北アフリカとナイジェリアからの輸出が4月末から6月に続々

到着するので、さらに大幅な値上げの可能性が薄い。図1は3月14～4月13日尿素のFOBアメリカ Nola 価格の推移である。図2は2022年11月～2023年4月中旬のアメリカの尿素相場の推移である。



\* 4月20日、中国政府国務院が記者発表会に於いて、2023年第1四半期(1～3月)の農業経済状況を紹介した。化学肥料については1～3月の化学肥料生産量が2400万トン(N、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>、K<sub>2</sub>O換算、以下同)を超えたが、国内需要量が同年同様の約2265万トン、

春シーズンの肥料需要が完全に満足できる。また、尿素、DAP、塩化加里と化成肥料の工場出荷価格が昨年同期より17~39%も下がり、農業生産コストの引き下げに貢献するという内容である。

\* 中国税関の速報によれば、2023年3月の中国化学肥料輸出量200万トン、その内訳は尿素12万トン、硫安102万トン、DAP26万トン、MAP19万トン。1~3月の化学肥料輸出量が34.4%増の558万トン、そのうち尿素が73.8%増の53万トン、硫安が18.8%増の280万トン、DAPが14.7%減の63万トン、MAPが163.9%増の53万トン。

一方、2023年3月の化学肥料輸入量107万トン、その内訳は塩化加里96万トン、NPK化成肥料7万トン。1~3月の化学肥料輸入量が16.4%増の284万トン、そのうち塩化加里が22.6%増の257万トン、NPK化成肥料が22.4%減の21万トン。

\* 4月第2週(10~16日)の尿素国際相場はアメリカNolaの尿素価格高騰の影響を受け、昨年9月から約7ヶ月ぶりに上昇に転じた。ロシア産尿素はまだFOB255~270ドル/トンであるが、中東や北アフリカ産尿素がFOB300ドル/トン台に回復した。

\* インドのSmartChem Technologies (STL)社はカプロラクタム副産硫安の入札を発表した。4月28日締め切り、購買数量2万トン、揚げ港はムンバイ港で、6月上旬納品という条件である。4月末の中国カプロラクタム副産硫安のFOB価格は150ドル/トンが要求されている。なお、SmartChem Technologies社の2月7日に行った前回の硫安の国際入札にCFR220ドル/トンで2~2.5万トン中国カプロラクタム副産硫安を購入した。

\* ノルウェーのYara社はヨーロッパ地域のアンモニアと尿素、硝安の生産能力を削減することを明らかにした。グループ全体でアンモニア生産能力の58%、窒素肥料生産能力の23%を削減するという。2023年1~3月の第1四半期のアンモニア生産量が前年同期より34万トン減の138万トン、尿素生産量が前年同期より29.6万トン減の83万トン、硝酸性肥料生産量が前年同期より33.5万トン減の119万トンであった。

\* 中国政府はりん安に続き、尿素についても輸出の「法定検査」期間を大幅に短縮した。5月から尿素の輸出「法定検査」期間が従来の60~90日から7~10日に短縮される。

## 大手各社の営業業績

\* 中国大手肥料メーカーの雲天化社は 2023 年第 1 四半期の業績を公表した。売上高が 6.17%増の 158.85 億人民元（約 23.2 億ドル）、純利益 15.75 億人民元（約 2.3 億ドル）。

\* 中国第 2 位の加里メーカー蔵格鉦業社は 2023 年第 1 四半期の業績を公表した。売上高が 6.84%増の 13.74 億人民元（約 1.99 億ドル）、純利益が 13.06%増の 9.21 億人民元（約 1.33 億ドル）。

## 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

### その他

\* 4 月 22 日、ラトビア政府外務省が声明を発表し、国連世界食糧計画（WFP）の仲介で、ロシア産化学肥料の差し押さえを解除して、アフリカに輸出することを許可した。最初の船はアフリカのケニアに向かって、4 月 21 日出港した。2022 年 3 月、ロシアによるウクライナへの侵攻を受け、ラトビア政府は EU のロシア制裁に参加して、国内港にある輸出予定の約 20 万トンロシア産化学肥料を押さえている。

\* アメリカの CF Industries 社は NextEra Energy Resources 社とジョイントベンチャー覚書（MOU）を締結して、オクラホマ州にある CF Industries 社の Verdigris Complex にグリーンアンモニアプロジェクトを開発する。当該プロジェクトは NextEra Energy Resources 社が開発した専用の 450MW 再生エネルギーを利用して、100MW 電解槽から生成された水素を原料としてアンモニアを合成するものである。年間最大 10 万トンアンモニアを合成して、最大 13 万トン CO<sub>2</sub> の排出量を削減できるという。